

小阿弥陀堂跡

小阿弥陀堂は、大阿弥陀堂のすぐ横にありました。どちらの阿弥陀堂も浄土仏教で崇拝されている阿弥陀如来を祀っていました。発掘調査によってこれら 2 つの阿弥陀堂の間にある平坦な場所から浅い池状のくぼみが発見されました。これは、貴族の邸宅にみられた納涼の場としての「泉殿」の跡ではないかと考えられています。

小阿弥陀堂の後ろにある石碑は、17 世紀につくられたもので、藤原二代基衡（1105–1157）の妻の墓とされています。彼女の死を悼み、毛越寺の僧侶らによって葬式を模した祭が毎年、5 月 4 日に行われています。